

災害が起こってしまったら

◆まずは自分
災害が起こったときに一番
に守るべきは自分です。自ら
の安全をまず考えましょう。

◆情報は最大の武器
ほとんどの風水害は、天気
予報等で知ることができま
す。非常時はテレビ、ラジ
オ、インターネットなどの
正しい情報収集が、正しい行
動につながります。

◆避難するときのところがけ
さきにお知らせした各種情
報も判断の材料となりますの
で、必要に応じて、参考にす
るとよいでしょう。

◆火の元の確認
避難するときは、電気のブ
レーカーを落とし、ガスの元
栓は締めましょう。（停電の
状態のまま避難すると、電気
やガスが復旧したときに火災
の原因となります。）

◆初期の避難
避難指示などが出されたた
きはもちろんですが、危険を
感じたら早めに避難しまし
ょう。

◆隣近所にひと声かけましょう
お互いに声をかけ合い、高
齢者や体の不自由な人の手
助けをしましょう。

◆運動靴とリュックサック
脱げにくい運動靴などで、
リュックに非常持ち出し品を
入れ、避難しましょう。

災害が起こったらすぐ通報を！

日時、場所、被災者の名前、被災状況および連絡先をお知らせください。

深江町 ☎050(3381)5120 (☎0957-72-2111)	北有馬町 ☎050(3381)5160 (☎0957-84-3111)	▼その他の連絡先 南島原警察署 110番 ☎0957(86)2110 南島原消防署 119番 ☎0957(82)2479 九州電力島原営業所(停電状況のお知らせ) 携帯電話 http://kyuden.jp NTT 113番
布津町 ☎050(3381)5130 (☎0957-72-3111)	南有馬町 ☎050(3381)5170 (☎0957-85-3111)	
有家町 ☎050(3381)5140 (☎0957-82-3300)	口之津町 ☎050(3381)5180 (☎0957-86-2111)	
西有家町 ☎050(3381)5151 (☎0957-82-3000)	加津佐町 ☎050(3381)5190 (☎0957-87-2001)	

災害時の連絡方法を覚えておきましょう

電話が混み合う災害時に、家族や支援者との安否確認に役立つのが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」です。震度6以上の地震などの大規模災害に稼働します。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方 ※音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

- 伝言の録音方法 171 ▶ 1 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を吹き込む
- 伝言の再生方法 171 ▶ 2 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を聞く

(ついでに) 毎月1日、「災害用伝言ダイヤル171」サービスを体験できます。 ◎1月1日は除きます。 ◎実際に災害が発生した際には体験サービスの利用ができない場合があります。



南島原市消防団 深江地区団長
大山 秀孝さん



火砕流で焼け残った旧大野木場小学
校と枯れずに立ち続ける大イチョウ。
焼野原に立つ大イチョウに多くの
人が勇気をもらったのだとか。

◆雲仙岳噴火災害のときは
深江町消防団第8分団長を
されていたそうですね。

当時、農業をしていたの
ですが、避難してからは、
田畑に入ることができず、
避難誘導、災害警戒など、
消防団活動の毎日でした。

◆火砕流で家が燃えたそう
ですね。つらかったと思っ
ます。

9月15日までは、避難生
活は辛かったけれどみんな
元気でした。「地域を守っ
ている」という自負があっ
たから。ところが、9月15
日の火砕流でほとんどの家
が焼け、帰るところがなく
なっていました。

「家が焼けたのに、消防
団なんかやっている場合じ
やない」解散の空気が出て

きたのはそれ
からです。再
三の私たちの説得にもかか
わらず、日に日に「解散」
の文字は色濃くなってい
きました。

そんなある日の会合で、
ひとりの団員が声を上げま
した。「今解散したら、大
野木場は誰が守るんだ。家
はなくなっただけで、僕たち
には守るべき家族がある。
地域があるじゃないか！」
光がさした思いでした。す
ると次々と俺もやる、とい
う声があちこちであがり、
最後は「やるぞ」「やる
ぞ」の大合唱になりました。

◆それが現在に続いていると
はい。辛いながらも避難

生活は、家族の絆、地域の
絆を強く感じた時期でもあ
りました。避難生活での助
けあい得た人との結びつ

きは、替えることのできな
い、私の大事な財産でもあ
ります。
私の消防団活動を一番心
配していた息子も、今では
消防団員になっていま
すが、子どもから認めら
れたようで嬉しかったです
ね。

◆最後に何かお願いします。

災害の前で私たちは無力
です。それでも今、私たち
は生きている。そしてこれ
からも普賢岳とともに生き
ていく。
また災害があったら？ま
た乗り越えて行きますよ。
なぜなら私たちには、知恵
を出し合える仲間がいて、
助けてくれる家族がいる。
だから何があってもきつと
乗り越えられる、そう信じ
ています。

協働のカタチ 市政懇談会

市政懇談会

今月も引き続き市政懇談会の内容をお知らせします。
先月が市民生活に関する質問、多く寄せられた質問をま
とめてお知らせしましたが、今月は、ご意見の中で特徴的
なものを抜粋してお知らせします。

質問 本庁組織となるそうだが最終的に支所はなくなるのか。

回答 支所はなくなりません。予算の多くを占める人件費削減の観点から人員を削減する必要があり、浮いた予算を有効に使う必要があります。職員が減れば、サービスの方法が変わってきま

すが、本庁と支所の連携を強化することにより、サービスの低下にならないよう努力します。今後ともご理解をお願いします。

質問 自治会配布は、ほとんど班長が行うが、自治会業務の保障は自治会長のみと聞いている。この際のけがの対応が市でできないとすれば、各自治会で加入することになるが、市で幹

旋や補助をする考えはないか。
回答 自治会長は非常勤の特別公務員であり、けがなどは、公務災害で対応します。ほかの人はこ

うした身分ではありません。一方で、対象となりません。一方で、

まちづくり事業補助金で傷害保険をかけることは可能です。保険の種類等は十分検討してお知らせする予定です。

質問 経費の無駄をなくす必要がある。市報、議会報等の紙質は、県報なみに落とすなど工夫して欲しい。

回答 新聞などでも報道されましたが、再生紙配分率の偽装事件で、配分率の高いリサイクル用紙が品薄で高騰しております。本市の発行部数で換算したところ、

県(県政だより)が使用している再生率100%の紙を使用した場合、1部当り60銭高くなることから、現行の紙を使用しております。市広報紙・議会だよりは、市の動きや市議会の活動状況を、広く市民の皆さまに伝える手段であり、毎回心待ちにしておられる市民も多数いらっ

しゃいます。両広報紙とも、読みたくなるような紙面作りにかけていますので、今後とも愛

読ください。

質問 共同募金に関し、目標額等を自治会に提示しているが、もっと精選したり、自由にした方がよいのではないか。

回答 共同募金に関しては、市社会福祉協議会で行っています。目標額については長崎県共同募金会が設定しており、県下全市町に目標額が設定してあります。あくまで、目安として目標額を提示しているものであり、また、募金の集め方についても、自治会の判断に委ねられています。募金本来の趣旨は、強制ではなく任意のものであります。しかしながら、市社会福祉協議会も共同募金会から募金の配分金を受け、地域の福祉向上のための事業を行っておりますので、ご協力をお願いいたします。

質問 市政出前講座について具体的に説明してほしい。

回答 「市政出前講座」は、南島原市が行っている事業や取り組み、施設の見学について、自治会や各種団体の要請により直接職員が出向き、また、施設においていただき、職員がわかりやすく説明することで市政や施設への理解を深め、市民の声を聞く場として平成20年度から実施するものです。

質問 島鉄が廃止され、有家、島原間で約20分多く通学時間がかかる。今後の交通体系、道路行政を市としてどのように考えているか。また、西有家の生コン前の国道工事を行っているが、効果に疑問がある。説明してほしい。

回答 平成20年度中に公共交通体系づくりをどうすべきか検討をします。線路跡地については、今後とも県、島鉄と話をしていきたいと考えています。西有家の国道工事については、17年度からの継続事業であり、工事も半ば以上終わっているため、県も行政上中断できない状況にあるのではないのでしょうか。

質問 雲仙市、島原市で実施されているタクシー券の補助を、島原市では今年からバス、列車に対する補助をするという話も聞いているが。

回答 福祉タクシーは、議会での要望も多い事業です。本市は、高齢者が多い状況にもかかわらず、財源の問題があつて実施できません。島鉄の廃止の問題もあつて、今後、市の公共交通機関の交通体系の中で取り組んでいく必要があると考えています。